

登録コード	E4602900	開講年度	2026			
授業科目	国語科指導論				担当教員	西 一夫
英文授業名	Teaching of Japanese Language (Junior High School)				副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・4時限	対象学生
講義室	教育N101講義室	授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観			⇔	教育全般の「読むこと」の学習活動を担うために必要な知見を踏まえ、児童・生徒の幸せのために働くことへの意欲を高め、よりよい教育の実現を目指して日々の努力と研鑽を続けることができるようになる。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能			⇔	国語科学習の基盤的な活動である「読むこと」を中心とした専門的な知識・技能を習得して、司書教諭としての実践的な学習活動を主導するための専門的知識・技能を習得して生徒の読書活動の支援ができるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化、多文化協働					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	・子どもの読書活動の推進は、現在では最も重要な文教政策のひとつとなっており、都道府県、市町村、それぞれのレベルで、多くの読書推進計画が立案されている。だが、肝心の学校図書館が貧弱なままではそれらも画餅に帰すであろう。 ・本授業では有効な読書推進活動を行うための学校図書館のあり方を考え、司書教諭の果たす役割を理解すると共に、実際の読書指導の内容と方法について具体的に学習していく。 ・読解・読書指導の現状と歴史的経緯とを踏まえて、学習活動の基盤となる「読むこと」の実践的な内容で指導法のあり方を体験的に習得する内容となる。 ・担当教員が学校図書館司書教諭の実務経験を活かして講義をおこなう。					
(5)授業計画	担当教員が中等教育の実務経験を活かして講義を行います。 第1回：読書活動の意義と目的 第2回：読書能力の発達 第3回：読書の導入的な指導－楽しむ読書を中心に－ 第4回：読書の展開的な指導－調べ学習を中心に－ 第5回：読書の発展的な指導－考える読書を中心に－ 第6回：発達段階に対応した読書 第7回：読書資料の多様化と活用 第8回：読書体験の交流（ICT機器を活用した実践例） 第9回：中学校教育での「読むこと」指導①－説明的文章－ 第10回：中学校教育での「読むこと」指導②－文学的文章－ 第11回：高等学校教育での「読むこと」指導①－現代文・評論領域－ 第12回：高等学校教育での「読むこと」指導②－現代文・小説領域－ 第13回：学校図書館の実践活動①－POP作成と交流－ 第14回：学校図書館の実践活動②－学校図書館の現状を知る－、授業アンケート 定期試験					
(6)成績評価の方法	以下の結果で最終評価とする。 ■司書教諭として図書館運営と図書館での授業実践とを支援するための基礎的内容の理解と実践活動（63点） ・DP1の「「読むこと」の学習活動を担うために必要な知見」に対する理解を図るための学校図書館または読書活動に関するミニレポート（14回、2点＝28点） ・DP2の「司書教諭としての実践的な学習活動を主導するための専門的知識・技能を習得」に対する理解を測るための実践課題（POP作成・交流・振り返り）（15点） ・DP2の「司書教諭としての実践的な学習活動を主導するための専門的知識・技能を習得」に対する理解を測るための筆記試験（20点） ■読書活動や「読むこと」の学習活動に関する基礎的知識と実践活動（37点） ・DP2の「国語科学習の基盤的な活動である「読むこと」を中心とした専門的な知識・技能を習得」するための学習活動に対する理解を測るための評価問題作成（20点） ・DP2の「国語科学習の基盤的な活動である「読むこと」を中心とした専門的な知識・技能を習得」するための学習活動に対する理解を測るための小テスト（17点） ■得点率による評価基準は次のとおり。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。					
(7)成績評価の基準	秀：授業内容をきわめて高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題演習・実技課題等に取り組み、高度な活動成果を示している。 優：授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題演習・実技課題等に取り組み、良好な活動成果を示している。 良：授業内容のおおよそを理解し、講義内容を理解するとともに、与えられた課題演習・実技課題等に					

(7)成績評価の基準	誠実に取り組み、授業ねらいで求める活動成果の三分の一程度の達成が認められる。 可：授業内容の一部を理解するとともに、与えられた課題演習・実技課題の一部は誠実に取り組み、部分的に努力の認められる活動成果を示している。 不可：授業出席以外は可とすべき内容を満たさない。
(8)事前事後学習の内容	事前学習：事前に指示される資料や小課題を事前学習としておこなう。 事後学習：授業で取り上げた内容についての振り返りを小レポートとしてまとめる。展示活動等の交流に積極的に関わる。 ※この授業は90時間の学修を必要とする内容である。したがって、60時間以上の時間外学習が必要となる。
(9)履修上の注意	児童・生徒の本に興味を持ち、実際の読書材を数多く見ておいてほしい。 なお、この科目は学校図書館司書教諭資格科目（読書と豊かな人間性）の内容を含み、国語教育の指導法と司書教諭の割合は1：1とする。
(10)質問、相談への対応及び連絡先	原則的に授業時に直接おこなうことが望ましい。個人的な相談・質問の場合はメールにて。また、オフィスアワーを利用してもよい。対応可能な場合は、その他の時間でも可。 【西】研究室：中校舎4F 408 内線番号：4072 アドレス：nishika@shinshu-u.ac.jp
【教科書】	適宜、各領域に関するプリント資料を作成して配付する。
【参考文献】	その都度指示する。